



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年10月27日

上場会社名 株式会社 ジーダット
コード番号 3841 URL <https://www.jedat.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 執行役員 (氏名) 松尾 和利
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 太田 裕彦
四半期報告書提出予定日 2023年11月9日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

上場取引所 東
TEL 03-6262-8400

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	885	9.2	85	36.8	135	24.7	133	13.1
2023年3月期第2四半期	975	7.6	135	48.9	179	81.2	153	613.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	34.72	
2023年3月期第2四半期	39.94	39.93

(注)2024年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	4,362	3,339	76.6
2023年3月期	4,490	3,302	73.5

(参考)自己資本 2024年3月期第2四半期 3,339百万円 2023年3月期 3,302百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		25.00	25.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				30.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,200	9.0	290	8.6	328	3.3	270	1.4	70.14

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	3,909,800 株	2023年3月期	3,909,800 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	60,472 株	2023年3月期	60,472 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	3,849,328 株	2023年3月期2Q	3,847,984 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における、当社の主要顧客である電子部品業界は、地政学的リスクからのサプライチェーンの強化を目的に、政府からの助成金などによる半導体設備の投資が旺盛な状況です。また、スマートフォンやパソコンなどの需要低迷によるメモリーの在庫調整が進みようやく生産調整の出口が見えつつあります。FPD (Flat Panel Display) 市場はスマートウォッチやヘッドマウントディスプレイ等に用いられるマイクロLEDの需要が漸増するものの、テレビ向けの大型パネルおよびパソコン向けの中小型パネルは、生産調整が続いている状況ですが、FPD市場もようやく出口が見え始めております。

このような状況の中、当社はアナログ半導体向け設計環境の効率化を追求し続けており、主力製品であるSX-MeisterのアナログLSIの設計自動化に向けたACC (Analog Chip Compiler) 製品の開発力を強化しました。さらに4年ぶりの対面形式のプライベートセミナーを開催し、SX-MeisterにAIを導入する開発計画、ACCそしてパワー半導体向けソリューションの最新機能を紹介しました。さらに競争力のある代理店製品を拡充し、それらを活用した営業活動を積極的に展開しております。海外市場への販売活動においては、大規模フォトマスクブラウザ：HOTSCOPEの拡販に注力した結果、売上比率を伸ばしました。ソリューション・ビジネスにおいては、国内の設計委託の活発な需要を受け、売上は堅調に推移しました。

こうした活動を実施しましたが、国内顧客の設備投資の延期、並びに第1四半期のFPD顧客向けの売上減少の影響を受け売上高は8億85百万円（前年同四半期比9.2%減）となり、営業利益は85百万円（前年同四半期比36.8%減）となりました。経常利益は、円安による為替差益等の計上により、1億35百万円（前年同四半期比24.7%減）となり、四半期純利益は外国税額控除等による税金費用の減少により1億33百万円（前年同四半期比13.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 当第2四半期会計期間の総資産、負債、純資産の概況

総資産は、前事業年度末と比較して1億28百万円（2.9%）減少し43億62百万円となりました。内訳として流動資産は1億46百万円（3.5%）減少し40億33百万円、固定資産は18百万円（5.8%）増加し3億28百万円となりました。流動資産が減少した主な要因は、受取手形及び売掛金が1億34百万円（43.1%）減少し1億78百万円となったこと及び、現金及び預金が40百万円（1.1%）減少し36億3百万円となったことによるものであります。

負債合計は、前事業年度末と比較して1億66百万円（14.0%）減少し10億22百万円となりました。内訳として流動負債は前事業年度末と比較して1億66百万円（14.0%）減少し10億18百万円、固定負債は前事業年度末と同額の3百万円となりました。流動負債が減少した主な要因は、買掛金が90百万円（78.2%）減少し25百万円となったこと及び、前受金が72百万円（8.4%）減少し7億94百万円となったことによるものであります。

純資産は、前事業年度末と比較して37百万円（1.1%）増加し33億39百万円となりました。純資産が増加した要因は、利益剰余金の増加37百万円（2.2%）によるものであります。

なお、自己資本比率は前事業年度末の73.5%から76.6%となりました。

② 当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの概況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前事業年度末と比べ44百万円減少し26億65百万円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、前年同四半期比で3億4百万円（85.1%）減少し53百万円となりました。主な内訳は、税引前四半期純利益の増加1億35百万円及び、仕入債務の減少90百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、前年同期比で23百万円（87.7%）減少し3百万円となりました。主な内訳は、無形固定資産の取得による支出2百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、前年同四半期比で21百万円（28.4%）増加し96百万円となりました。内訳は、配当金の支払であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月12日に公表しました2024年3月期の業績予想からの変更はありません。なお当資料に記載の業績見通しについては、現在入手している情報に基づいた見通しであり、当社企業の事業領域をとりまく経済情勢、市場の動向等により、実際の業績がこれら業績見通しと大きく異なる場合があり得ることをご承知おき願います。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,644,221	3,603,388
受取手形及び売掛金	313,136	178,188
電子記録債権	167,852	187,865
仕掛品	—	538
原材料	199	599
その他	54,862	62,854
流動資産合計	4,180,274	4,033,435
固定資産		
有形固定資産	31,615	26,355
無形固定資産	22,403	21,284
投資その他の資産		
投資有価証券	124,590	145,629
繰延税金資産	80,941	90,028
その他	50,974	45,344
投資その他の資産合計	256,506	281,002
固定資産合計	310,525	328,642
資産合計	4,490,799	4,362,078
負債の部		
流動負債		
買掛金	115,999	25,304
未払法人税等	21,419	20,277
賞与引当金	94,161	79,699
前受金	866,855	794,013
その他	86,308	99,326
流動負債合計	1,184,744	1,018,622
固定負債		
資産除去債務	3,700	3,700
固定負債合計	3,700	3,700
負債合計	1,188,444	1,022,322
純資産の部		
株主資本		
資本金	762,524	762,524
資本剰余金	893,443	893,443
利益剰余金	1,675,027	1,712,428
自己株式	△28,639	△28,639
株主資本合計	3,302,355	3,339,756
純資産合計	3,302,355	3,339,756
負債純資産合計	4,490,799	4,362,078

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	975,311	885,949
売上原価	319,622	307,767
売上総利益	655,689	578,181
販売費及び一般管理費	520,223	492,591
営業利益	135,466	85,590
営業外収益		
受取利息	25	25
為替差益	29,309	20,544
助成金収入	14,876	22,866
投資事業組合運用益	—	5,972
その他	0	14
営業外収益合計	44,211	49,422
営業外費用		
投資事業組合運用損	452	—
営業外費用合計	452	—
経常利益	179,225	135,013
特別利益		
新株予約権戻入益	39	—
特別利益合計	39	—
税引前四半期純利益	179,265	135,013
法人税、住民税及び事業税	34,501	10,466
法人税等調整額	△8,934	△9,086
法人税等合計	25,567	1,379
四半期純利益	153,698	133,634

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	179,265	135,013
減価償却費	10,231	15,335
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,106	△14,462
投資事業組合運用損益 (△は益)	452	△5,972
受取利息	△25	△25
新株予約権戻入益	△39	—
売上債権の増減額 (△は増加)	169,281	114,935
棚卸資産の増減額 (△は増加)	2,238	△938
前渡金の増減額 (△は増加)	△2,898	△11,008
仕入債務の増減額 (△は減少)	△62,436	△90,694
助成金収入	△14,876	△22,866
未払金の増減額 (△は減少)	△26,664	565
前受金の増減額 (△は減少)	192,859	△72,841
その他	△38,076	△4,106
小計	412,418	42,932
助成金の受取額	13,322	21,089
利息の受取額	26	27
法人税等の支払額	△67,699	△10,848
営業活動によるキャッシュ・フロー	358,067	53,201
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△933,282	△934,767
定期預金の払戻による収入	933,282	934,767
有形固定資産の取得による支出	△5,329	△939
無形固定資産の取得による支出	△21,190	△2,000
その他	△295	△348
投資活動によるキャッシュ・フロー	△26,814	△3,288
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1,984	—
配当金の支払額	△76,906	△96,233
財務活動によるキャッシュ・フロー	△74,922	△96,233
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,035	1,476
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	258,366	△44,843
現金及び現金同等物の期首残高	2,525,708	2,710,836
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,784,074	2,665,993

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。